

# 子どもの目・鼻・耳

鼻水からの中耳炎・結膜炎に注意

川崎市病児保育施設

エンゼル川崎

エンゼル中原

エンゼル宮前

エンゼル麻生



春は寒暖差やアレルギー性鼻炎などから鼻づまり、鼻水などの症状が多く見られますね。目・耳・鼻はそれぞれ奥でつながっているため、様々な病気を引き起こす可能性もあるので、注意が必要です。

## 鼻水の他にこのような症状が見られたら受診を…

～小児科・耳鼻咽喉科・眼科など症状に応じて～

子どもの目・鼻・耳は機能が未熟で、風邪をひいたり鼻をかんだりするだけで、炎症が起こりやすくなっています。また細菌やウイルスが鼻水から逆流して感染をおこし、中耳炎や結膜炎になってしまうこともあります。



発熱



機嫌が悪い



耳を触る



耳の痛みや耳だれ



目の充血・目やになど



\* 流行性角結膜炎は感染力が強いため、エンゼルではおあずかりできません。

## ～鼻づまり・鼻水のケアポイント～

- 乾燥すると鼻づまりを起こしやすくなるので、加湿して湿度を適度に保つ(50～60%)
- 鼻がかめない場合は、鼻吸い(吸引)をするとよい
- 鼻水が多い時はむせて嘔吐を誘発する可能性もあるので、水分や食事摂取は少量ずつを心がける
- 鼻水により鼻の下が荒れないようワセリンなどを塗って皮膚を保護する

## エンゼルのお昼寝では…

お昼寝の時鼻水や咳で苦しそうな子どもは、クッションや枕を使い上半身を高くして、呼吸が楽になるようにしています。



\* 鼻水が改善されないと鼻の粘膜が弱り、少しの刺激で鼻出血をおこしやすくなります。長く続く場合は自己判断せず医師に相談しましょう。